



歯ろはろ～新聞



発行/ 多田歯科医院

高松市木太町 7 9 2 - 6

☎ 8 1 5 - 2 0 1 0

ホームページ <http://www.tadashika.jp/>

新年あけましておめでとうございます！いよいよ 2012 年がスタートしました！ 新年を迎えると心機一転し、また新たな気持ちにもなりますね。さて、今年の干支は『辰』です。本来、干支（えと）というのは『十干（じっかん）十二支（じゅうにし）』を組み合わせたものを指すそうで、現代ではそれら最後の一文字「干」「支」ととって“干支”と呼ばれているそうです。この十二支の中でただ1つ“想像上の生き物”は、今年の干支の「辰（つまり竜）」でもありますよね。この「辰」には“草木の形が整った状態”という意味があり、“新しい物や事がこれから生まれる準備が整った状態”を表すそうです。そういった意味でも 2012 年は、日本にとって“再スタート”の年とも言えますし、世界的にも“大きな変化”のある年になりそうな気がしませんか？ 前回の辰年はちょうど西暦 2000 年でした。その時代の大きな節目である 2000 年から、もう干支が一回りしたことに時の流れの速さも感じてしまいます。また、こういった形で時代の流れを“縦の軸”で考えると、ふと勇気づけられることもあつたりします。それは、自分が今この世に“生”を授かっているのは、実に多くのご先祖様と繋がっているということに気づかされるからです。例えば、今自分がいるためには、まず「両親」の存在がなければなりません。そして、さらにその両親にもそれぞれ両親がいて、さらにその上にもそれぞれの両親がいます。仮に 10 世代前までさかのぼってみると、自分の先祖は“1,024 人”もいることになります。さらに、これを 20 世代前までさかのぼってみると、ご先祖様は“1,048,576 人”と百万人を超える計算になるのです。もちろん、私たちの先祖が生き抜いてきた時代が、今よりも生きやすかったかという点を決してそうではないでしょう。だからこそ、今自分がいるということは奇跡に近いような感じもしてしまいます。普段はこういったことを考える機会もあまりありませんが、こういったことをいつも心のどこかに置くことで、日々の生活も“半歩先に進んだもの”になるのかもしれないですね。それでは、2012 年が皆様にとって素晴らしい 1 年になりますように！

あなたも“^{つう}歯科通”になれる…!?

?? 歯医者が出題する“歯とお口”のクイズ ??

日本では、「歯みがき剤」や「マウスウォッシュ」などの“デンタルケア商品”がお店でたくさん売られています。また、全国各地どこにでも歯科医院があって、歯の治療やクリーニングをしてもらえますよね。さて、ここでこんな問題を出題！

Q 次の国のうち、むし歯にかかっている人が“最も少ない国”はどこでしょう？ 次の 3 つの国の中から選んで下さい！



1 チョコレートの原料カカオ豆の生産国として知られるアフリカの“**ガーナ**”

2 サンタクロースの故郷として知られる北欧の“**フィンランド**”

3 私たちが住む“**日本**”